

# 高速道路本線の対策強化(案)

- ゴールデンウィークは、都市部の渋滞回数は減少したが、地方部の渋滞回数が約2倍以上に増加。(図1)
- また、既存の渋滞箇所ではなく、新たな箇所での渋滞が、全体箇所数の約3割を占める。(図2)

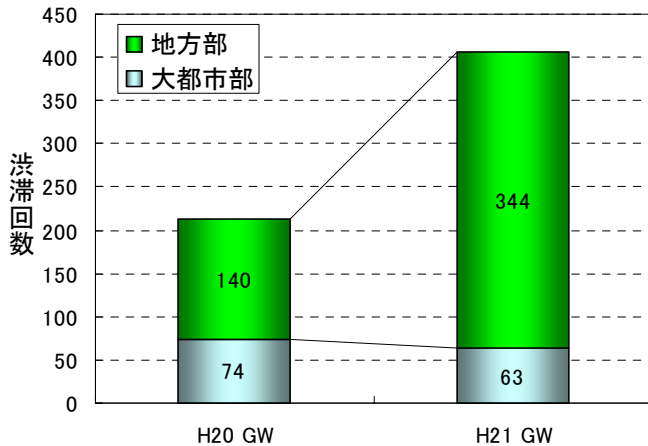


図1 地域別の渋滞発生回数(10km以上)

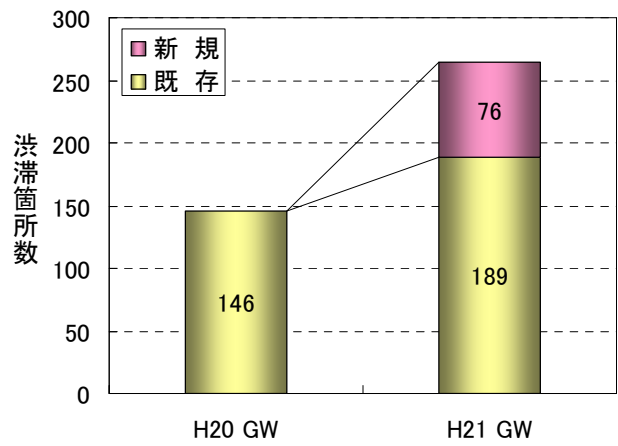


図2 既存・新規別の渋滞箇所数(10km以上)

- 渋滞要因については、サグ・上り坂、トンネルといった、気づかないうちに速度低下する箇所での渋滞回数が多い。特に、トンネルでの渋滞回数の伸びが約4倍、箇所数で約3倍と大きいのが特徴。(図3,4)

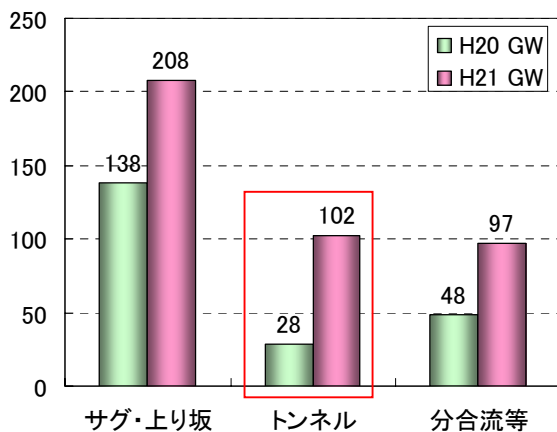


図3 要因別の渋滞発生回数(10km以上)

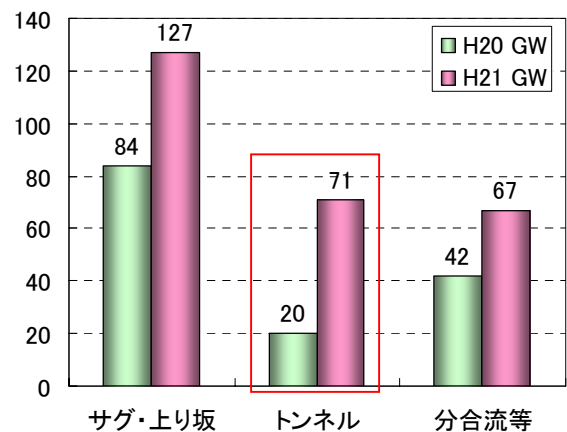


図4 要因別の渋滞箇所数(10km以上)

## お盆時期の対策

- ゴールデンウィークに新たに渋滞(10km以上)が発生した箇所も対象に含め、サグ・上り坂、トンネル部を中心に、速度低下抑制のための対策を強化します。
  - サグ、上り坂:「速度回復」等をお願いするLED標識車、看板の設置
  - トンネル部:トンネル照明の照度アップ、視線誘導標の増設

※ 既存の渋滞箇所についても、ゴールデンウィークと同等以上の対策を講じます。